

令和7年度 第2回 木更津市地域公共交通活性化協議会

次 第

日時：令和7年8月20日（水）

午後3時00分

場所：木更津市役所駅前庁舎

防災室・会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 路線バス「太田循環線」新規系統運行開始（10月1日）について
 - (2) 路線バス「三井アウトレット線」のダイヤ改正（7月19日）について
 - (3) 令和7年度バス・タクシー運転士に関する就職説明面接会の実施について
- 4 議題
 - (1) 木更津市地域公共交通活性化協議会規約の改正について
 - (2) 令和6年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について
 - (3) 木更津市地域公共交通計画の変更について
 - (4) 富来田地区における自家用有償旅客運送の運行内容の変更について（目的地の追加）
- 5 その他
- 6 閉会

配布資料

- ◇次第
- ◇席次表
- ◇委員名簿
- ◇木更津市地域公共交通活性化協議会規約
- ◇報告資料1：路線バス「太田循環線」新規系統運行開始（10月1日）について
- ◇報告資料2：路線バス「三井アウトレット線」のダイヤ改正（7月19日）について
- ◇報告資料3：令和7年度バス・タクシー運転士に関する就職説明面接会の実施について
- ◇資料 1：木更津市地域公共交通活性化協議会規約の改正について
- ◇資料 2：令和6年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について
- ◇資料 3：木更津市地域公共交通計画の変更について
- ◇資料4－1：富来田地区における自家用有償旅客運送の運行内容の変更について（目的地の追加）
- ◇資料4－2：木更津市地域公共交通活性化協議会において協議が調ったことを証する書類（案）

令和7年度 第2回木更津市地域公共交通活性化協議会 席次表

日時：令和7年8月20日（水）15時00分

場所：木更津市役所駅前庁舎8階 防災室・会議室

<p>日本大学理工学部 交通システム工学科教授 轟 朝幸 委員（会長）</p>		
<p>公募委員 石渡 宏 委員</p>		<p>君津土木事務所 調整課長 伊藤 貴夫 委員</p>
<p>日東交通株式会社 運輸部長 高橋 晴樹 委員</p>		<p>富来田地区まちづくり協議会 会長 鍋田 宏 委員</p>
<p>小湊鉄道株式会社 バスサービス部長 深山 宏樹 委員 （代理出席：松下田 正弘 様）</p>		<p>イオンモール木更津 渉外部長 立松 義徳 委員</p>
<p>一般社団法人千葉県バス協会 専務理事 成田 斉 委員 （代理出席：上田 純誠 様）</p>		<p>三井アウトレットパーク木更津 所長 藤井 裕 委員</p>
<p>一般社団法人千葉県タクシー協会 南房支部長 手塚 真一 委員</p>		<p>木更津市議会 交通政策特別委員会 委員長 神蔵 五月 委員</p>
<p>東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター所長 鹿島 良行 委員</p>		<p>木更津市 企画部長 品川 昭和 委員</p>
<p>国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 福浪 新一 委員</p>		<p>木更津市 市民協働部長 鈴木 和代 委員</p>
<p>千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長 伊藤 昌央 委員 （代理出席：宮原 翔 様）</p>		<p>木更津市 福祉部長 阿津 直人 委員</p>
<p>日東交通労働組合 木更津支部副支部長 大澤 一樹 委員</p>		<p>木更津市 都市整備部長 寺田 巧実 委員</p>
	事務局	
	<p>○ ○ ○ ○</p> <p>鈴木室長 平野係長 深野主任主事 田丸主事</p>	

傍 聴 人 席

木更津市地域公共交通活性化協議会委員名簿

(任期：令和６年７月１日～令和８年６月３０日)

※敬称略

区 分	役 職 等	氏 名	備考
市民の代表者 又は地域公共交通の利用者	木更津市区長会連合会 会計	泉 水 廣 己	
	公募委員	石 渡 宏	監査委員
一般乗合旅客自動車運送事業者	日東交通株式会社 運輸部長	高 橋 晴 樹	
	小湊鉄道株式会社 バス部長	深 山 宏 樹	
千葉県バス協会の代表者 又はその指名する者	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成 田 齊	
千葉県タクシー協会の代表者 又はその指名する者	一般社団法人千葉県タクシー協会 南房支部長 京成タクシーイースト株式会社 南房事業部代表取締役社長	手 塚 真 一	
鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社 木更津統括センター所長	鹿 島 良 行	
学識経験者	日本大学理工学部交通システム工学科 教授	轟 朝 幸	会 長
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局長 又はその指名する者	首席運輸企画専門官	福 浪 新 一	
千葉県総合企画部交通計画課長 又はその指名する者	地域公共交通担当課長	伊 藤 昌 央	
木更津警察署長 又はその指名する者	交通課長	住 澤 悠 太	
木更津市長 又はその指名する市職員	企画部長	品 川 昭 和	副会長
	市民協働部長	鈴 木 和 代	
	福祉部長	阿 津 直 人	
	都市整備部長	寺 田 巧 実	監査委員

一般旅客自動車運送事業者の事業用 自動車の運転者が組織する団体	日東交通労働組合 木更津支部副支部長	大澤 一 樹	
道路管理者 又はその指名する者	君津土木事務所 調整課長	伊 藤 貴 夫	
自家用有償旅客運送者 (福祉有償運送を行う者を除く。)	富来田地区まちづくり協議会 会長	鴫 田 宏	
会長が協議会の運営上必要と認めた者	イオンモール木更津 渉外部長	立 松 義 徳	
	三井アウトレットパーク木更津 所長	藤 井 裕	
	木更津市議会 交通政策特別委員会 委員長	神 蔵 五 月	

(規約第7条第2項記載順)

木更津市地域公共交通活性化協議会規約

(設置)

第1条 木更津市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画（以下「計画」という。）の作成及び実施に関し必要な協議を行い、併せて道路運送法（昭和26年法律第183号。第12条において「法」という。）の規定に基づき、地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保、その他の旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な協議を行うために設置する。

(名称及び事務所の位置)

第2条 協議会の名称及び事務所の位置は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称 木更津市地域公共交通活性化協議会
- (2) 事務所の位置 千葉県木更津市富士見一丁目2番1号木更津市役所駅前庁舎内（協議事項）

第3条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 計画の作成及び変更に関する事項
 - (2) 計画の実施に関する事項
 - (3) 地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保、その他の旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスに関する事項
 - (4) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関すること
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要なこと
- (組織)

第4条 協議会は、会長、副会長、監査委員及び委員（以下「委員等」という。）をもって組織する。

2 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 1人
- (3) 監査委員 2人

3 会長、副会長及び監査委員は相互に兼ねることはできない。

(会長)

第5条 会長は第7条に規定する委員の中から互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

(副会長及び監査委員)

第6条 副会長及び監査委員は、第7条に規定する委員のうちから会長が指名する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を

代理する。

(協議会の委員)

第7条 協議会は、委員30人以内で組織する。

2 協議会の委員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 市民の代表者又は地域公共交通の利用者
 - (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者
 - (3) 千葉県バス協会の代表者又はその指名する者
 - (4) 千葉県タクシー協会の代表者又はその指名する者
 - (5) 鉄道事業者
 - (6) 学識経験者
 - (7) 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局長又はその指名する者
 - (8) 千葉県総合企画部交通計画課長又はその指名する者
 - (9) 木更津警察署長又はその指名する者
 - (10) 木更津市長又はその指名する者
 - (11) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
 - (12) 道路管理者又はその指名する者
 - (13) 自家用有償旅客運送者（福祉有償運送を行う者を除く。）
 - (14) 前各号に掲げるもののほか、会長が協議会の運営上必要と認めた者
- (委員の任期)

第8条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 前条に掲げる委員のうち行政機関の職員及び団体の役員については、その職にある期間とする。

3 欠員により新たに委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第9条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が召集し会議の議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議決の方法は出席した委員の過半数で決めるものとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 前3項の規定にかかわらず、会長は、会議で議決すべき案件が軽易であると認めるとき、緊急を要するため会議を召集する時間的余裕がないと認めるときその他やむを得ない事情があると認めるときは、書面により議決を行うことができる。

5 第3項の規定は、前項の書面による議決について準用する。

6 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

7 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

8 前7項に掲げるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。
(協議結果の尊重義務)

第10条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(分科会)

第11条 第3条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(運賃協議分科会)

第12条 第3条第4号に掲げる事項についての協議は、法第9条4項に規定する者をもって組織する運賃協議分科会において行う。

2 運賃協議分科会の会長は、第7条第2項第10号の委員をもってあてる。

3 運賃協議分科会の会長は、運賃協議分科会を開催するときは事前に協議会へ通知するものとし、運賃協議分科会において決議を行ったときは速やかに協議会へ報告するものとする

4 運賃協議分科会の運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、木更津市企画部地域政策室に置く。

3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第14条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(監査)

第15条 監査委員は、協議会の出納監査を行う。

2 監査委員は、監査の結果を会長に報告しなければならない。

(財務に関する事項)

第16条 協議会の予算の編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会解散の場合の措置)

第17条 協議会が解散した場合においては、協議会の収支は解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第18条 この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成21年10月22日から施行する。
(委員の任期の特例措置)
- 2 第8条の規定にかかわらず、最初に就任された委員の任期は、平成23年3月31日までとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成28年10月27日から施行する。
(委員の任期の特例措置)
- 2 第8条の規定にかかわらず、平成28年度に就任された委員の任期は、平成30年3月31日までとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成29年3月13日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成29年4月18日から施行する。
(委員の任期の特例措置)
- 2 第8条の規定にかかわらず、平成29年度に就任された委員の任期は、平成30年3月31日までとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成29年5月24日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和3年5月14日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和４年４月１８日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和５年７月７日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和６年１月３０日から施行する。

太田循環線 運行ルート変更

令和7年10月1日(水)ダイヤ改正 (認可申請中)

- 1 日中の便がもっと便利な新ルートに!
- 2 お買い物や通院など、毎日の外出に大活躍
- 3 真舟団地で「八幡台ニュータウン線・八幡台循環線」との乗継OK

運行路線図

— 変更ルート 9時台から16時台 —
 — 現在のルート 始発～8時台 / 17時台～終発 —

A回り
B回り



運行情報は日東交通
ホームページからも
ご確認出来ます。



ますます便利になる太田循環線を、ぜひご利用ください!

太田循環線（市街地循環系統）時刻表

令和7年10月1日改正予定（※認可申請中）

A回り	1	2	3	4	5
木更津駅東口	9:45	10:20	11:30	14:30	15:55
信金前	9:46	10:21	11:31	14:31	15:56
駅前通り	9:47	10:22	11:32	14:32	15:57
恋の森	9:49	10:24	11:34	14:34	15:59
太田	9:50	10:25	11:35	14:35	16:00
東太田郵便局	9:51	10:26	11:36	14:36	16:01
木更津総合高校前	9:53	10:28	11:38	14:38	16:03
ほたる野	9:55	10:30	11:40	14:40	16:05
伊豆島	9:55	10:30	11:40	14:40	16:05
アピタ木更津店	9:59	10:34	11:44	14:44	16:09
ほたる野4丁目	10:00	10:35	11:45	14:45	16:10
クリニッパ通り	10:01	10:36	11:46	14:46	16:11
高山台ハイツ北	10:03	10:38	11:48	14:48	16:13
清見台中央公園南	10:04	10:39	11:49	14:49	16:14
請西4丁目	10:06	10:41	11:51	14:51	16:16
請西東2丁目	10:07	10:42	11:52	14:52	16:17
わたベクリニッパ前	10:08	10:43	11:53	14:53	16:18
請西東7丁目西通り	10:09	10:44	11:54	14:54	16:19
真舟小入口	10:10	10:45	11:55	14:55	16:20
陣屋下	10:11	10:46	11:56	14:56	16:21
真舟団地	10:12	10:47	11:57	14:57	16:22
請西南5丁目	10:13	10:48	11:58	14:58	16:23
ドン・キホーテ木更津	10:13	10:48	11:58	14:58	16:23
イオンタウン木更津請西	10:15	10:50	12:00	15:00	16:25
請西東7丁目東通り	10:16	10:51	12:01	15:01	16:26
請西東3丁目	10:17	10:52	12:02	15:02	16:27
請西平川	10:20	10:55	12:05	15:05	16:30
請西小関	10:21	10:56	12:06	15:06	16:31
自動車学校前	10:22	10:57	12:07	15:07	16:32
請西小学校	10:23	10:58	12:08	15:08	16:33
太田	10:24	10:59	12:09	15:09	16:34
恋の森	10:26	11:01	12:11	15:11	16:36
駅前通り	10:27	11:02	12:12	15:12	16:37
信金前	10:28	11:03	12:13	15:13	16:38
木更津駅東口	10:33	11:08	12:18	15:18	16:43

B回り	1	2	3	4	5
木更津駅東口	9:00	11:00	12:10	13:10	15:20
信金前	9:01	11:01	12:11	13:11	15:21
駅前通り	9:02	11:02	12:12	13:12	15:22
恋の森	9:04	11:04	12:14	13:14	15:24
太田	9:05	11:05	12:15	13:15	15:25
請西小学校	9:06	11:06	12:16	13:16	15:26
自動車学校前	9:07	11:07	12:17	13:17	15:27
請西小関	9:08	11:08	12:18	13:18	15:28
請西平川	9:10	11:10	12:20	13:20	15:30
請西東3丁目	9:12	11:12	12:22	13:22	15:32
請西東7丁目東通り	9:13	11:13	12:23	13:23	15:33
イオンタウン木更津請西	9:15	11:15	12:25	13:25	15:35
請西南5丁目	9:16	11:16	12:26	13:26	15:36
真舟団地	9:18	11:18	12:28	13:28	15:38
真舟郵便局	9:19	11:19	12:29	13:29	15:39
真舟小入口	9:20	11:20	12:30	13:30	15:40
請西東7丁目西通り	9:21	11:21	12:31	13:31	15:41
わたベクリニッパ前	9:22	11:22	12:32	13:32	15:42
請西東2丁目	9:23	11:23	12:33	13:33	15:43
請西4丁目	9:24	11:24	12:34	13:34	15:44
清見台中央公園南	9:26	11:26	12:36	13:36	15:46
高山台ハイツ北	9:27	11:27	12:37	13:37	15:47
クリニッパ通り	9:29	11:29	12:39	13:39	15:49
ほたる野4丁目	9:30	11:30	12:40	13:40	15:50
アピタ木更津店	9:33	11:33	12:43	13:43	15:53
伊豆島	9:35	11:35	12:45	13:45	15:55
ほたる野	9:35	11:35	12:45	13:45	15:55
木更津総合高校前	9:38	11:38	12:48	13:48	15:58
東太田郵便局	9:39	11:39	12:49	13:49	15:59
太田	9:40	11:40	12:50	13:50	16:00
恋の森	9:41	11:41	12:51	13:51	16:01
駅前通り	9:42	11:42	12:52	13:52	16:02
信金前	9:43	11:43	12:53	13:53	16:03
木更津駅東口	9:48	11:48	12:58	13:58	16:08

始発～8時台及び17時台～終発は従来通りのルートで運行致します。（時刻の変更はございません。）
「真舟団地」停留所より八幡台ニュータウン線・八幡台循環線との乗継が可能です。是非ご利用ください。

ご利用区間の運賃等につきましては、日東交通ホームページよりご確認ください。



三井アウトレットパーク線（木更津駅～金田BT～MOP～袖ヶ浦駅）のダイヤ改正について

1 改正日 令和7年7月19日（周知開始：7月2日）

2 内 容

・運行ダイヤを遅延状況等に合わせた調整：

三井アウトレットパーク木更津を起点に系統を木更津駅発着と袖ヶ浦駅発着に分け、アクアライン周辺の渋滞影響を小さくし、定時運行の確保を行う。

① 「木更津駅～コストコ金田BT（通過する系統もあり）～MOP 木更津」

② 「MOP 木更津～袖ヶ浦駅（一部系統で木更津金田BT 発着）」

・①については、平日はコストコおよび金田BTに乗り入れる。また、土休日においても金田地区の渋滞の影響により定時運行ができなくなる時間帯を除き、朝、夜間で金田BTに立ち寄る系統を運行を開始した。

本改正による全便数および、変更は下記のとおり。

平日		木更津駅発着便数	増減	袖ヶ浦駅発着便数	増減
木更津 袖ヶ浦	上り	(改正後)23 便 (前)33 便	▲10	(改正後)52 便 (前)59 便	▲7
	下り	(改正後)23 便 (前)30 便	▲7	(改正後)53 便 (前)58 便	▲5

土休日		木更津駅発着便数	増減	袖ヶ浦駅発着便数	増減
木更津 袖ヶ浦	上り	(改正後)22 便 (前)33 便	▲11	(改正後)62 便 (前)59 便	3
	下り	(改正後)22 便 (前)31 便	▲9	(改正後)62 便 (前)58 便	4

※限られた乗務員人数で路線バスの運行をしているため、
運行距離の短い袖ヶ浦駅北口～三井アウトレットパーク木更津間と比較し、
木更津駅西口～三井アウトレットパーク木更津は本数維持が難しくなっている。

発車時刻予定表（木更津駅西口）

木更津駅西口

令和7年7月19日改正

行先	袖ヶ浦駅北口		三井アウトレットパーク		清見台団地	
とき	平日	土日・祝日・	平日	土日・祝日・	平日	土日・祝日・
5	■コ 35	■コ 50				
6			〒コ 15 40	〒〒 15 45	NT 25 45	
7		■コ 35	〒 15	〒◎ 14 55	NT 05 30 51	NT 50
8			ココ 00 30	コ 30	NT NT 08 20 25 37	NT 10
9			コ 25	コ 15	NT 05 30	NT NT 10 50
10			コ◎ 00 50	◎◎ 10 40	NT 30	NT 30
11			コ 20		NT 10	NT NT 10 50
12			コ◎ 15 40	◎◎ 00 40	NT 08 25	NT 30
13	■コ 00			〒 45	NT 05 25	NT 10
14			コ巖 20 45	◎ 00	NT 05 25	NT 10
15			◎ 40	〒〒 20 50	NT 10	30
16			コ 15	〒 30	NT 01 25	12 50
17			ココ 10 45	◎ 00	NT 00 27	
18			コ 50	◎ 05	NT 00 25	NT 30
19	■コ 30	■◎ 50		〒 00	NT 15	NT 15
20	■◎ 00				15	NT 15
21			コ 35	コ 35	NT 00	
22						

■：アウトレットパーク経由，コ：コストコ木更津経由，◎：金田中島経由

〒：中島郵便局経由，巖：巖根駅経由，NT：日東交通にて運行

8月13日から15日は日祝ダイヤにて運行

12月29日から1月3日は日祝ダイヤにて運行

■一般路線バスは、中扉より乗車し、前扉より降車してください。降車の際、運賃は料金箱にお入れください。

■到着時間は交通状況により遅れる場合がありますので、ご了承ください。 小湊鐵道株式会社

00650-2

発車時刻予定表（袖ヶ浦駅北口）

袖ヶ浦駅北口

令和7年7月19日改正

行先 とき	木更津駅西口		三井アウトレットパーク	
	平日	土日・祝日・	平日	土日・祝日・
5				
6			金 35	35
7			20 40	20 40
8			00 15 30 45	00 10 金 20 30 40 50
9			金 00 15 金 30 45	00 10 20 30 40 45 50 ※
10			00 15 金 30 50	00 10 20 30 40 50 ※ ※ ※ ※ ※
11			10 30 45	00 15 30 45 ※ ※ ※
12	コ ■ 15		00 30 金 45	00 15 30 45 ※ ※ ※
13	◎ ■ 00		20 40	00 15 30 45 ※ ※ ※ ※
14			00 20 40	00 15 30 45 ※ ※
15			00 20 40	00 20 40 ※ ※
16			金 00 20 40	00 20 40 ※ ※
17			00 20 40 55	00 20 40
18			05 25 30 45	00 20 40
19			05 20 40	00 20 40
20	コ ■ コ ■ 25 56	コ ■ 40	05 35	00 10 30
21			15 金 35	05 20 金 30 50
22			00 37	35

コ：コストコ木更津経由，■：アウトレットパーク経由，◎：金田中島経由
 金：三井アウトレットパーク経由木更津金田バスターミナル行き，※：急行 アウトレットパーク
 8月13日から15日は日祝ダイヤにて運行
 12月29日から1月3日は日祝ダイヤにて運行

■一般路線バスは、中扉より乗車し、前扉より降車してください。降車の際、運賃は料金箱にお入れください。
 ■到着時間は交通状況により遅れる場合がありますので、ご了承ください。 小湊鐵道株式会社

01962-1

令和7年度バス・タクシー運転士に関する就職説明面接会の開催について

ハローワーク木更津と共催で、人材不足が深刻である運転手(バス・タクシー)、介護、保育の職種を対象とした説明会・面接会をイオンモール木更津で実施します。

記

- 1 事業名 運転・介護・保育のお仕事説明面接会 in イオンモール木更津
- 2 日にち 令和7年11月30日(日)
- 3 場 所 場所:イオンモール木更津(木更津市築地1-4)
- 4 主催等 主催:ハローワーク木更津 共催:木更津市
※共催および後援については、その他の関係団体への協力依頼を予定しています。
- 5 参加予定事業所 交通事業者 5社程度
介護・保育事業者 5社程度
- 6 内 容(予定)
 - (1)説明面接会 参加事業者が就職希望者に対して、個別説明・面接を行う。
 - (2)出張相談 ハローワーク木更津が求職者に対して職業相談を行う。

参考

令和6年度 運転のお仕事説明面接会 in イオンモール木更津の実施について

1 主 催 等

主催:ハローワーク木更津

共催:木更津市、一般社団法人千葉県タクシー協会南房支部

後援:一般社団法人千葉県バス協会、千葉県福祉人材センター

2 日 時 令和6年12月8日(日) 午後1時30分から午後4時

3 場 所 イオンモール木更津 2階 イオンホール

4 参加企業・事業所

バス	日東交通株式会社
	小湊鉄道株式会社
	大新東株式会社

タクシー	京成タクシーかずさ株式会社
	木更津合同タクシー株式会社
	木更津タクシー株式会社
	有限会社富津公園タクシー
	株式会社ウルマツアーリングサービス
	房総タクシー株式会社

5 内 容

(1)説明面接会 参加事業者が就職希望者に対して、個別説明・面接を実施した。

(2)出張相談 ハローワーク木更津が求職者に対して職業相談を実施した。

6 事前申込みについて

・ハローワーク木更津にて面接の事前予約を受付。(説明会や相談のみの参加は事前予約不要)

7 結果について

分野	事業所名	面談数	最大面談回数 (1社×7枠)	枠数に対する 面談率
バス	日東交通(株)	45	63	71.4%
	小湊鉄道(株)			
	大新東(株)君津営業所			
タクシー	京成タクシーかずさ(株)			
	木更津合同タクシー(株)			
	木更津タクシー株式会社			
	(有)富津公園タクシー			
	(株)ウルマツアーリングサービス			
	房総タクシー(株)			

【議題(1)】木更津市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正について**1 規約改正内容****(1) 自家用有償運送の導入に係る協議における「検討プロセス」の導入の規定の追加**

「地域公共交通会議に関する国土交通省としての考え方について」の一部が改正され、自家用有償運送の活用にあ資する手続の合理化・効率化を図る「検討プロセス」のガイドライン化が図られたため、木更津市地域公共交通活性化協議会に規定されている会議議決方法に「検討プロセス」に基づく協議結果については、本協議会において議決されたものとする旨追加するもの。

(2) 運賃協議分科会に係る規程の追加

分科会として設置した「運賃協議分科会」について、協議事項等について所要事項を追加するもの。

2 施行日 令和7年8月20日**3 新旧対照表** 別紙のとおり**4 備 考**

- (1) 「1(1)自家用有償運送の導入に係る協議における「検討プロセス」の導入の規定の追加」については、令和6年12月27日付で国土交通省物流・自動車局より発出された事務連絡に基づくものです。
- (2) 自家用有償運送の導入に係る協議における「検討プロセス」のガイドラインについては参考資料参照。

新旧対照表

○木更津市地域公共交通活性化協議会規約

新	旧
<p>木更津市地域公共交通活性化協議会規約 第1条～第2条 略</p> <p>(協議事項)</p> <p>第3条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。 (1)～(3) 略 (4) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様等に関する事 <u>(5) 自家用有償旅客運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事</u> <u>(6) 前各号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要なこと</u></p> <p>第4条～第8条 略</p> <p>(会議)</p> <p>第9条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が召集し会議の議長となる。</p> <p>2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。</p> <p>3 会議の議決の方法は出席した委員の過半数で決めるものとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。</p> <p>4 前3項の規定にかかわらず、会長は、会議で議決すべき案件が軽易であると認めるとき、緊急を要するため会議を召集する時間的余裕がないと認めるときその他やむを得ない事情があると認めるときは、書面により議決を行うことができる。</p> <p>5 第3項の規定は、前項の書面による議決について準用する。</p> <p><u>6 第3項の規定にかかわらず、「地域公共交通会議及び運営協議会に関する国土交通省としての考え方について」(国自旅第161号平成18年9月15日)に定める「地域公共交通会議の設置並びに運営に関するガイドライン」5.(3)地域公共交通会議における検討プロセスに基づく協議結果又は当該検討プロセスに基づき協議が調ったものとみなされた事項については、協議会の議決があったものとする。</u></p>	<p>木更津市地域公共交通活性化協議会規約 第1条～第2条 略</p> <p>(協議事項)</p> <p>第3条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。 (1)～(3) 略 (4) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関する事 こと (5) 前各号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要なこと</p> <p>第4条～第8条 略</p> <p>(会議)</p> <p>第9条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が召集し会議の議長となる。</p> <p>2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。</p> <p>3 会議の議決の方法は出席した委員の過半数で決めるものとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。</p> <p>4 前3項の規定にかかわらず、会長は、会議で議決すべき案件が軽易であると認めるとき、緊急を要するため会議を召集する時間的余裕がないと認めるときその他やむを得ない事情があると認めるときは、書面により議決を行うことができる。</p> <p>5 第3項の規定は、前項の書面による議決について準用する。</p>

<p><u>7</u> 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。</p> <p><u>8</u> 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。</p> <p><u>9</u> 前7項に掲げるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。</p> <p>第10条～第11条 略</p> <p>(運賃協議分科会)</p> <p>第12条 <u>乗合旅客運送の運賃又は料金に関する</u>事項についての協議は、法第9条4項に規定する者をもって組織する運賃協議分科会において行う。</p> <p>2 運賃協議分科会の会長は、第7条第2項第10号の委員をもってあてゐる。</p> <p><u>3 運賃協議分科会は会長が必要に応じて招集し、運賃協議分科会の会長が会議の議長を務める。</u></p> <p><u>4</u> 運賃協議分科会の会長は、運賃協議分科会を開催するときは事前に協議会へ通知するものとし、運賃協議分科会において決議を行ったときは速やかに協議会へ報告するものとする</p> <p><u>5</u> 運賃協議分科会の運営その他必要な事項は、会長が別に定める。</p> <p>第13条～第17条 略</p>	<p>6 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。</p> <p>7 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。</p> <p>8 前7項に掲げるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。</p> <p>第10条～第11条 略</p> <p>(運賃協議分科会)</p> <p>第12条 第3条第4号に掲げる事項についての協議は、法第9条4項に規定する者をもって組織する運賃協議分科会において行う。</p> <p>2 運賃協議分科会の会長は、第7条第2項第10号の委員をもってあてゐる。</p> <p>3 運賃協議分科会の会長は、運賃協議分科会を開催するときは事前に協議会へ通知するものとし、運賃協議分科会において決議を行ったときは速やかに協議会へ報告するものとする</p> <p>4 運賃協議分科会の運営その他必要な事項は、会長が別に定める。</p> <p>第13条～第17条 略</p>
--	--

木更津市地域公共交通活性化協議会規約（改正案）

（設置）

第1条 木更津市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画（以下「計画」という。）の作成及び実施に関し必要な協議を行い、併せて道路運送法（昭和26年法律第183号。第12条において「法」という。）の規定に基づき、地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保、その他の旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な協議を行うために設置する。

（名称及び事務所の位置）

第2条 協議会の名称及び事務所の位置は、次に掲げるとおりとする。

- （1）名称 木更津市地域公共交通活性化協議会
- （2）事務所の位置 千葉県木更津市富士見一丁目2番1号木更津市役所駅前庁舎内（協議事項）

第3条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- （1）計画の作成及び変更に関する事項
 - （2）計画の実施に関する事項
 - （3）地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保、その他の旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスに関する事項
 - （4）地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様等に関する事
 - （5）自家用有償旅客運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事
 - （6）前各号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要な事
- （組織）

第4条 協議会は、会長、副会長、監査委員及び委員（以下「委員等」という。）をもって組織する。

2 協議会に、次の役員を置く。

- （1）会長 1人
- （2）副会長 1人
- （3）監査委員 2人

3 会長、副会長及び監査委員は相互に兼ねることはできない。

（会長）

第5条 会長は第7条に規定する委員の中から互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

（副会長及び監査委員）

第6条 副会長及び監査委員は、第7条に規定する委員のうちから会長が指名する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の委員)

第7条 協議会は、委員30人以内で組織する。

- 2 協議会の委員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 市民の代表者又は地域公共交通の利用者
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (3) 千葉県バス協会の代表者又はその指名する者
- (4) 千葉県タクシー協会の代表者又はその指名する者
- (5) 鉄道事業者
- (6) 学識経験者
- (7) 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局長又はその指名する者
- (8) 千葉県総合企画部交通計画課長又はその指名する者
- (9) 木更津警察署長又はその指名する者
- (10) 木更津市長又はその指名する者
- (11) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
- (12) 道路管理者又はその指名する者
- (13) 自家用有償旅客運送者(福祉有償運送を行う者を除く。)
- (14) 前各号に掲げるもののほか、会長が協議会の運営上必要と認めた者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 前条に掲げる委員のうち行政機関の職員及び団体の役員については、その職にある期間とする。

- 3 欠員により新たに委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第9条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

- 3 会議の議決の方法は出席した委員の過半数で決めるものとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 4 前3項の規定にかかわらず、会長は、会議で議決すべき案件が軽易であると認めるとき、緊急を要するため会議を召集する時間的余裕がないと認めるときその他やむを得ない事情があると認めるときは、書面により議決を行うことができる。

- 5 第3項の規定は、前項の書面による議決について準用する。

- 6 第3項の規定にかかわらず、「地域公共交通会議及び運営協議会に関する国土交通省としての考え方について」(国自旅第161号平成18年9月15日)に定める「地域公共交通会議の設置並びに運営に関するガイドライン」5.(3)地域公共交通会議にお

ける検討プロセスに基づく協議結果又は当該検討プロセスに基づき協議が調ったものとみなされた事項については、協議会の議決があったものとする。

7 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

8 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

9 前7項に掲げるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。
(協議結果の尊重義務)

第10条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(分科会)

第11条 第3条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(運賃協議分科会)

第12条 乗合旅客運送の運賃又は料金に関する事項についての協議は、法第9条4項に規定する者をもって組織する運賃協議分科会において行う。

2 運賃協議分科会の会長は、第7条第2項第10号の委員をもってあてる。

3 運賃協議分科会は会長が必要に応じて招集し、運賃協議分科会の会長が会議の議長を務める。

4 運賃協議分科会の会長は、運賃協議分科会を開催するときは事前に協議会へ通知するものとし、運賃協議分科会において決議を行ったときは速やかに協議会へ報告するものとする

5 運賃協議分科会の運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第13条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、木更津市企画部地域政策室に置く。

3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第14条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(監査)

第15条 監査委員は、協議会の出納監査を行う。

2 監査委員は、監査の結果を会長に報告しなければならない。

(財務に関する事項)

第 16 条 協議会の予算の編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会解散の場合の措置)

第 17 条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第 18 条 この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成 21 年 10 月 22 日から施行する。

(委員の任期の特例措置)

2 第 8 条の規定にかかわらず、最初に就任された委員の任期は、平成 23 年 3 月 31 日までとする。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成 28 年 10 月 27 日から施行する。

(委員の任期の特例措置)

2 第 8 条の規定にかかわらず、平成 28 年度に就任された委員の任期は、平成 30 年 3 月 31 日までとする。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成 29 年 3 月 13 日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成 29 年 4 月 18 日から施行する。

(委員の任期の特例措置)

2 第 8 条の規定にかかわらず、平成 29 年度に就任された委員の任期は、平成 30 年 3 月 31 日までとする。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成 29 年 5 月 24 日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和3年5月14日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和4年4月18日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和5年7月7日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和6年1月30日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和7年8月 日から施行する。

事 務 連 絡
令和6年12月27日

各地方運輸局自動車交通部長 殿
内閣府沖縄総合事務局運輸部長 殿

物流・自動車局旅客課長

自家用有償旅客運送に係る協議における「首長判断プロセス」の導入について

「地域公共交通会議に関する国土交通省としての考え方について」（平成18年9月15日付国自旅第161号）について、本年4月26日に改正し、2ヶ月の期間内に、自家用有償旅客運送等の運送サービスについて実施するとの結論に至らなかった場合には、当該地域公共交通会議を主宰する市町村長又は都道府県知事が自らの責任において、自家用有償旅客運送の導入の可否について最終的な判断を行える旨規定したところである。

自家用有償旅客運送の導入に向けた、この「首長判断プロセス」については、一部の市町村において、地域公共交通会議の設置要綱を改正する等して、導入されてきているところであるが、未だ導入に係る措置を講じていない市町村・都道府県が大多数存在する状況である。

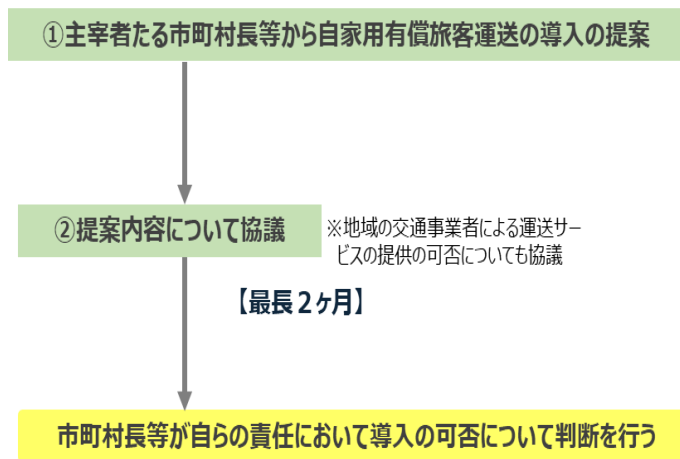
このため、各地方運輸局等においては、市町村や都道府県において、合理的な理由なく「首長判断プロセス」の導入に係る措置を講じていない場合には、当該措置の導入を促す等、適切に指導されたい。

以上

○「検討プロセス」の活用

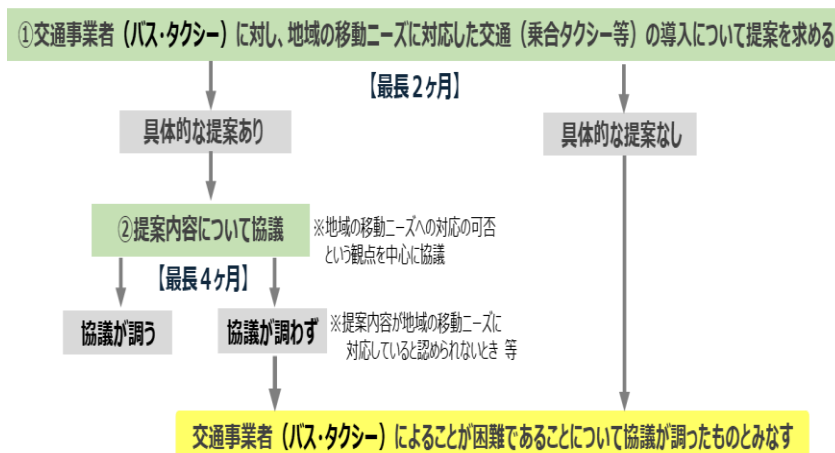
- 「地域公共交通会議の設置並びに運営に関するガイドライン」において、関係者間で協議する方法の一つとして、「検討プロセス」が示されています。
- この検討プロセスでは、次の考え方が示されています。会議の設置要綱に盛り込み、関係者が円滑に協議を行うために活用することができます。

- 市町村長等から、自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の導入が提案された場合
 - 地域の交通事業者による運送サービスの提供の可否についても協議
 - 最長2ヶ月程度の協議で結論に至らなかった場合には、市町村長等が自らの責任において導入の判断を行う



○ 交通の確保の方法が決まっていない場合

- 交通事業者に対し、地域の移動ニーズに対応した交通サービス（乗合タクシー等）の導入について提案を求める
- バス・タクシー事業者からの具体的な提案に対して、最長4ヶ月協議を行い、協議が調わない場合や、最長2ヶ月間で具体的な提案がなされなかった場合には、バス・タクシー事業者によることが困難であることについて、協議が調ったものとみなすこと



【検討プロセスの補足事項】

（地域の実情等に応じた検討プロセスの活用について）

- ・ 地域の実情や運送の形態、対象とする旅客に応じて、地域のニーズに対応した交通手段の確保のために、会議がこれによらない協議を行う旨を議決した場合には、検討プロセスによることなく協議を行うこととなります。
- ・ 検討プロセスによる議決方法は、他の議決方法と同様に、設置要綱に定めることとなりますが、現に行われている具体的な協議の状況や段階等を踏まえ、検討プロセスに基づく協議結果は議決されたものとする旨を、あらかじめ、個別の事案ごとに議決することも可能です。

（更新登録における検討プロセスによる協議について）

- ・ 現に実施されている自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）に対して、交通事業者による困難性が認められないと具体的な提案が行われた場合、更新登録における検討プロセスによる協議については、地域の移動ニーズに対応した交通手段の安定的な確保の観点から、新たな提案により提供される輸送サービスの持続性を踏まえ、自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の更新登録を行うことを含め、慎重に検討を行うこととなります。

【議題(2)】令和6年度木更津市地域公共交通計画の事業評価について

木更津市地域公共交通計画

事業評価シート(令和 6 年度実施分)

令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月



木更津市地域公共交通計画の評価（進行管理）について

■評価について

（１）評価指標に対する評価

各事業の評価指標の進捗度については、以下の３段階を設定します。

「A」・・・目標を達成した。

「B」・・・目標達成に向けて概ね計画のとおり実施した。

「C」・・・事業の見直し等、事業内容や実施時期等の変更を要する。

（２）事業に対する評価

各事業の計画目標の評価に対しては、以下の４段階を設定します。

「A」・・・目標を達成している。

「B」・・・概ね目標の達成が見込まれる。

「C」・・・目標達成に向けて、一部課題がある。

「D」・・・このままでは目標達成が困難である。

■各事業の評価指標

本計画の達成状況を把握するため、事業ごとに次のとおり評価指標と目標値を設定します。この評価指標の進捗状況や各事業の実施状況を毎年把握することで、本計画の進行管理を行います。

【指標一覧】

事業	評価指標	目標値	実績値	事業評価
		（令和１２年度）	（令和６年度）	R6年度
【事業１】 高速バスの利便性向上	高速バスの路線毎の市内バス停の数の合計	64箇所	50箇所	C
【事業２】 木更津金田バスターミナルの機能強化	木更津金田バスターミナルの高速バス乗り入れ便数	147,000便	133,416便	C
【事業３】 バス路線等の再編	路線バスの利用者数	2,580,000人	2,347,293人	A
【事業４】 拠点における円滑な接続				B
【事業５】 新たな交通システムの導入	新たな交通システムの導入地区	5地区	1地区	B
【事業６】 車両のバリアフリー化	ノンステップバス導入率	87.9%	56.9%	B
	ユニバーサルデザインタクシー車両の導入率	41.1%	27.9%	
【事業７】 巖根駅の利便性向上	巖根駅に停車する電車の本数（平日）	現状（上り49本、下り50本）よりも増加	上り49本 下り50本	B
【事業８】 事業者の人材育成	交通事業者と連携した運転士募集に関する取組数 ※計画期間通算実施回数	40件	8件	B
【事業９】 情報発信	木更津市ホームページ閲覧件数のうち、公共交通関連ページの閲覧件数が占める割合	3.7%	3.3%	A

事業	評価指標	目標値	実績値	事業評価
		(令和12年度)	(令和6年度)	R6年度
【事業10】 多言語標記	バスの行き先表示の多言語標記率	100.0%	51.0%	B
	タクシーの翻訳機等配備率	79.9%	65.5%	
【事業11】 新たなモビリティサービスの活用	検討のための協議 ※計画期間通算実施回数	32回	8回	A
【事業12】 事業者間連携によるインセンティブ付与	事業者間連携による取組数	8件	3件	B
【事業13】 モビリティ・マネジメント	公共交通に関するイベントや説明会等の実施回数 ※計画期間通算実施回数	16回	4回	A
【事業14】 久留里線の利用促進	馬来田駅における運行本数	現状（上下17本） 維持	上り17本 下り17本	B

■推進・管理体制

木更津市地域公共交通活性化協議会において、毎年度、取組の実施状況の確認、効果検証や取組の改善案等について協議を行います。

また、計画期間における社会情勢の変化を踏まえ、見直しが必要な場合は、上位・関連計画との整合を図りつつ、計画の改訂を行っていきます。

推進・管理体制	構成員	役割
木更津市地域公共交通 活性化協議会	市民、交通事業者、警察、 国の交通施策担当者等	取組の実施状況の確認、効果検証や取組の改善案等について協議し、計画の進行管理を行います。また、必要に応じて、計画の改定に係る協議を行います。

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標①	高速バスの利便性向上							
事業Ⅰ	高速バスの利便性向上							
実施主体	木更津市、バス事業者、その他関係者							
取組内容・スケジュール								
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
まちづくりの進展に合わせた高速バスの利便性向上	<div>検討・協議</div> <div>実施(随時)</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
新たな高速バス路線の検討	<div>県やバス事業者と検討</div> <div>検討状況を踏まえた取組の実施</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
取組状況								
<p>【運行本数や乗降場所の増減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転士不足による共同運行者の撤退等により、高速バスの運行本数は減少に転じています。 令和6年3月：東京4路線（木更津-東京、君津-東京、鴨川-東京、勝浦-東京）の減便 令和6年6月：木更津-新宿線とMOP木更津-新宿駅西口(直通便)の統合による再編 三井アウトレットパーク木更津-たまプラーザ(直通便)の運行終了 令和6年7月：木更津-渋谷線が減便 令和7年2月：木更津-羽田線、館山・君津-羽田・横浜線が減便 令和7年4月：君津-東京線の再編（君津駅発着便を一部アウトレット発着へ振替） 館山-新宿線（新宿なのはな号）が運休便の復便 令和7年6月：三井アウトレットパーク木更津-成田空港線（直通便・土日のみ）の運行開始 <p>≪参考：令和6年度高速バスの運行本数や乗降場所≫</p> <p>路線数：19路線およびアウトレット直通バス8路線 運行本数：244,048本(前年度比▲10,827本)</p> <p>市内バス停の数の合計：50箇所(前年度比▲2箇所)</p>								
目標値に対する実績値の進捗評価								
評価指標ⅰ	高速バスの路線毎の市内バス停の数の合計（箇所）							
	策定時(R3)							
	55							
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	52	50						
目安値	57	58	59	60	61	62	63	64
進捗度	C	C						
目標値(R12)	64							
評価指標ⅱ	木更津金田バスターミナルの高速バス乗入れ便数（便）							
	策定時(R3)							
	136,760							
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	142,090	133,416						
目安値	139,144	140,257	141,380	142,511	143,651	144,800	145,958	147,000
進捗度	A	C						
目標値(R12)	147,000							
達成の見通しと今後の方針								
<p>・高速バス路線において、慢性的にバス運転士が不足する中、運転士の労働時間規制、いわゆる「2024年問題」への対応が必要となり、やむを得ず路線の廃止や減便が行われており、今後は交通事業者の運転手確保等に向けた支援および、変化する時代と新たな需要に合わせた見直しや利用促進策の検討を進めます。</p>								
事業評価								
C	目標達成に向けて、一部課題がある							
<p>・高速バス路線の廃止や運行終了があり、運行本数は減少に転じています。交通事業者とともに、利用状況に応じた運行内容を見直す等の高速バスの利便性向上に向けた検討をしていく必要があります。</p>								

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標①	高速バスの利便性向上								
事業2	木更津金田バスターミナルの機能強化								
実施主体	木更津市、バス事業者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
木更津金田バスターミナルに乗り入れる高速・路線バスの便数増加に向けた、市とバス事業者の連携強化	市とバス事業者の協議（まちづくりの進展状況を踏まえ随時）								
	実施できる取組から随時実施								
	評価・検証 ※毎年実施								
東京・神奈川方面から東京湾アクアラインを経由して県内各地へ向かう高速バス路線について、木更津金田バスターミナルにおける乗継ぎの検討	市、関係自治体、バス事業者の協議								
	実施できる取組から随時実施								
	評価・検証 ※毎年実施								
取組状況									
【木更津金田バスターミナルへの乗入れ路線及び乗換え可能路線の増減：なし】									
【木更津金田バスターミナルへの乗入れ便数の増減】									
令和6年3月：東京4路線（木更津-東京、君津-東京、鴨川-東京、勝浦-東京）乗入れ便数減									
令和6年4月：木更津-川崎線が乗入れ便数増									
：木更津-新宿線が乗入れ便数減									
令和7年2月：木更津-羽田空港線が乗入れ便数減									
【木更津金田バスターミナルに乗入れをしている高速バス：12路線】*運休									
木更津-東京線、君津-東京線、鴨川-東京線、安房小湊・御宿・勝浦-東京線、木更津-品川線、木更津-新宿線、木更津-羽田空港線、木更津-川崎線、木更津-横浜線、木更津-成田空港線*、鴨川-渋谷線*、君津BT-USJ線									
【木更津金田バスターミナルで乗換え可能な高速バス：2路線】鴨川-東京線、鴨川-渋谷線*運休									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標 i	高速バスの路線毎の市内バス停の数の合計（箇所） ※再掲								策定時(R3)
									55
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値
実績値	52	50							(R12)
目安値	57	58	59	60	61	62	63	64	
進捗度	C	C							64
評価指標 ii	木更津金田バスターミナルの高速バス乗入れ便数（便） ※再掲								策定時(R3)
									136,760
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値
実績値	142,090	133,416							(R12)
目安値	139,144	140,257	141,380	142,511	143,651	144,800	145,958	147,000	
進捗度	A	C							147,000
達成の見通しと今後の方針									
・高速バス乗入れ便数については目安値を達成することができましたが、バス運転士不足や運転士の労働時間規制、いわゆる「2024年問題」への対応による路線の廃止や減便が行われています。									
・今後も交通事業者とともに、利用者のニーズを把握し、木更津金田バスターミナルでの乗り継ぎの検討を行い、利便性の向上を目指します。									
事業評価									
C	目標達成に向けて、一部課題がある								
・高速バス乗入れ便数は減少に転じています。引き続き、交通事業者とともに、利用者のニーズに対応した高速バスネットワーク機能の強化に向けた検討をしていく必要があります。									

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標②	路線バスの再編等								
事業3	バス路線等の再編								
実施主体	木更津市、バス事業者、その他関係者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
拠点ネットワーク型の集約型都市構造の形成を目指したバス路線等の再編	検討	できるところから再編実施（随時）							
	評価・検証 ※毎年実施								
まちづくりの進展や需要の変化を踏まえたバス路線等の見直し	バス路線の見直し（随時見直し）								
	評価・検証 ※毎年実施								
取組状況									
<p>【まちづくりの進展や需要の変化を踏まえたバス路線等の見直し】</p> <p>令和6年4月：運転業務に係る労働時間の規制強化に伴い、市内10路線で減便やダイヤ改正が行われました。（全体運行本数の4.7%減）</p> <p>≪減便・ダイヤ改正の主な内容≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝の始発便の繰り下げおよび、夜間の最終便時刻の繰り上げ ・年末年始および土休日ダイヤの設定 <p>【路線バスネットワークの再構築に関する協議・意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に実証運行を行った市街地循環バスの本格運行が収支面から困難であることから、既存路線の一部延伸によるバス路線網の再構築に向けた検討をバス事業者と行いました。 <p>（参考：運転士の労働時間規制、いわゆる「2024年問題」について）</p> <p>慢性的にバス運転士が不足する中、2024年4月から自動車運転者の労働時間等の労働条件の向上を図るため、拘束時間、休息時間等の基準の規制強化が適用されています。</p> <p>このことにより、各バス事業者においては、これまでどおりのダイヤを維持することが困難であることから、減便やダイヤの見直しが行われています。</p>									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標 i	路線バスの利用者数（人）								策定時(R3) 1,936,008
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)
実績値	2,246,716	2,347,293							2,580,000
目安値	2,184,800	2,241,200	2,297,600	2,354,000	2,410,400	2,466,800	2,523,200	2,580,000	
進捗度	A	A							
達成の見通しと今後の方針									
<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス路線において、慢性的にバス運転士が不足する中、運転士の労働時間規制、いわゆる「2024年問題」への対応が必要となり、やむを得ず路線の減便が行われていることから、引き続き交通事業者の運転手確保等に向けた支援を強化します。 ・持続可能なバス路線網の構築を図るため、バス事業者とともに市街地循環バスの導入等に向けた検討を進めます。 									
事業評価									
A	目標を達成している								
<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス利用者数は令和4年度から増加し続けています。引き続き、交通事業者とともに、「2024年問題」に起因する減便・ダイヤ改正について、改正後の利用状況等を注視し、バス路線網の維持に取り組む必要があります。 									

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標②	路線バスの再編等							
事業4	拠点における円滑な接続							
実施主体	バス事業者、その他関係者							
取組内容・スケジュール								
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
乗り換え及び乗り継ぎに配慮したダイヤ編成	<div>ダイヤ改正の都度、ダイヤを見直す</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
乗継割引の導入・待合環境の向上	<div>検討</div> <div>実施（必要に応じて見直し）</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
取組状況								
<p>【乗り換え及び乗り継ぎに配慮したダイヤ編成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市は交通事業者に対して円滑な乗換えダイヤの編成を検討するよう促し、交通事業者は提供された情報を踏まえて検討を行っています。 <p>(参考)</p> <p>令和6年3月18日のダイヤ改正では、本市内の各駅へのバスとの接続については影響がありませんでした。</p> <p>【乗継割引の導入・待合環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地循環バスの本格運行の検討に伴い、路線バスの乗継割引の実施に向けた検討をバス事業者と行いました。 今後は拠点でのバス同士の乗継制度の導入および、商業施設などの拠点における待合スペースの確保についても検討を行います。 令和6年7月にJR木更津駅東口にコワーキングが可能なカフェ・交流スペースを備えた「街なか交流施設」が整備され、バスや電車の待合環境が向上しました。 								
目標値に対する実績値の進捗評価								
評価指標：	路線バスの利用者数（人）※再掲							策定時(R3)
								1,936,008
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	2,246,716	2,347,293						
目安値	2,184,800	2,241,200	2,297,600	2,354,000	2,410,400	2,466,800	2,523,200	2,580,000
進捗度	A	A						
達成の見通しと今後の方針								
<ul style="list-style-type: none"> バス事業者は引き続きJRの時刻改正を踏まえた円滑な乗換えダイヤの編成に取り組めます。 バス事業者は集約拠点において乗り継ぎが生じるような再編を行う場合は、利用者の運賃負担が増えないよう乗継割引制度の導入に取り組めます。 拠点ネットワーク型のバス路線の構築のため、バス事業者とともに市街地循環バスの導入等に向けた検討を進めます。 								
事業評価								
B	概ね目標の達成が見込まれる							
<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの利用を促す観点から、バス事業者は需要の変化に対応した路線バス網の再編や、乗継割引制度の導入、待合環境の向上について検討を進める必要があります。 								

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標③	新たな交通システムの導入								
事業5	新たな交通システムの導入								
実施主体	木更津市、市民、タクシー事業者、バス事業者、その他関係者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
交通不便地域における 新たな交通システムの導入	本格運行（導入済みの地区）								
	説明会開催 (順次実施)	導入検討	実証運行	本格運行					
			導入検討	実証運行	本格運行				
				導入検討	実証運行	本格運行			
	評価・検証 ※毎年実施								
取組状況									
<p>【交通不便地域における新たな交通システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「新たな交通システム導入の基本的な考え方」に基づき、まちづくり協議会等の地域主体による新たな交通システムの導入を促進し、市は支援を行います。 <p>○令和6年度のまちづくり協議会等との協議状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 東清川地区まちづくり協議会（説明会①10/29(火) 参加者24名、説明会②3/30(日) 参加者17名） 新たな交通システムについて導入手引書に基づき説明を行い、まちづくり協議会からは、高齢者の移動手段の確保について検討を進めたいとの意向がありました。 木更津市社会福祉協議会(意見交換 2/3(月)) 新たな交通システムおよび国の無償運送ガイドラインについて意見交換を行いました。 千葉県タクシー協会南房支部(意見交換 8/13(火)) まちづくり協議会等の地域主体が新たな交通システムの運行委託を行うことについて、意見交換を行いました。 <p>【参考】令和5年度のまちづくり協議会等との協議状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩根東地区まちづくり協議会への説明会 令和5年11月10日（金） 木更津市社会福祉協議会との意見交換 令和5年12月7日（木） <p>○富来田地区自家用有償旅客運送の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会にて、輸送および収支の状況を報告し、状況改善に向けた意見交換を行いました。 									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標 i	新たな交通システムの導入地区(地区)								策定時(R3)
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	I地区
実績値	1	1							目標値(R12)
目安値	1	2	2	3	3	4	4	5	5地区
進捗度	B	B							
達成の見通しと今後の方針									
<ul style="list-style-type: none"> 市は、今後も交通不便地域への導入に向けた検討を進めるとともに、富来田地区で運行されている自家用有償旅客運送について、需要や運行上の問題点などを確認し、関係者で連携して解決を図りながら持続可能な運行を目指します。 									
事業評価									
B	概ね目標の達成が見込まれる								
<ul style="list-style-type: none"> 新たな交通システムの導入がI地区にとどまっており、導入地区増加に向け課題解決を図る必要があります。 									

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標④	利用しやすい環境の整備								
事業6	車両のバリアフリー化								
実施主体	バス事業者、タクシー事業者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
バス車両のバリアフリー化の推進	<div>車両更新時に、ノンステップバスを導入</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>								
タクシー車両のバリアフリー化の推進	<div>車両更新時に、ユニバーサルデザインタクシーを導入</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>								
取組状況									
<p>【バス車両のバリアフリー化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木更津市内に本社または営業所があるバス会社：2社 ・ノンステップバスの台数：33台 ・バス台数の合計：58台 ・導入率：56.89% <p>【タクシー車両のバリアフリー化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木更津市内に本社または営業所があるタクシー会社：6社 ・ユニバーサルデザイン車両数：63台 ・タクシー台数の合計：226台 ・導入率：27.87% 									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標 i	ノンステップバス導入率(%)								策定時(R3) 56.5%
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値(R12)
実績値	56.9	56.9							87.9%
目安値	67.5	70.6	72.2	77.4	79.6	82.7	84.8	87.9	
進捗度	B	C							
評価指標 ii	ユニバーサルデザインタクシー導入率(%)								策定時(R3) 24.7%
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値(R12)
実績値	26.5	27.9							41.1%
目安値	28.3	30.1	32	33.8	35.6	37.4	39.2	41.1	
進捗度	B	B							
達成の見通しと今後の方針									
<p>・バスが運行する地域によっては、低床バスだと走行中に床を道路に擦ってしまう場合があるため、導入率を100%にすることは困難ですが、可能な限り導入を進め、バリアフリー化を図るよう、バス事業者およびタクシー事業者に促します。</p>									
事業評価									
B	概ね目標の達成が見込まれる								

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標④	利用しやすい環境の整備								
事業7	巖根駅の利便性向上								
実施主体	木更津市、鉄道事業者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
総武線快速電車の停車等についての協議・要望	総武線快速電車の停車について協議 (随時実施)								
	普通電車の増便要望								
	評価・検証 ※毎年実施								
東側改札口の開設	整備								
	評価・検証								
岩根人道跨線橋エレベーター設置	EV設置								
	評価・検証								
取組状況									
<p>【総武線快速電車の停車等についての協議・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県JR線複線化等促進期成同盟の要望活動を通じて、巖根駅への快速停車対応のためホーム延伸について駅施設整備を求めました。 <p>(参考：2025年3月ダイヤ改正)</p> <p>総武線快速：夕夜間帯の下り列車の運転本数の変更</p> <p>京葉線：</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間帯に西船橋と海浜幕張間で増発 夕夜間帯に一部の各駅停車を快速列車に変更 <p>【東側改札口の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体不足の影響から改札機器の調達時期が遅れ、鉄道事業者による着工が令和6年3月となり、供用開始は令和6年12月となりました。 <p>【岩根人道跨線橋エレベーター設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度着工、令和6年1月に供用を開始しました。 									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標：	巖根駅に停車する電車の本数（平日）（本）								策定時(R3) 上り49本、下り50本
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値(R12)
実績値	上り	49	49						現状よりも増加
	下り	50	50						
達成の見通しと今後の方針									
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、千葉県JR線複線化等促進期成同盟の活動を通じて総武線快速電車の停車等についての協議を進める他、京葉線直通列車の復元を要望します。 									
事業評価									
B	概ね目標の達成が見込まれる								
<ul style="list-style-type: none"> 東口改札の新設に伴い、令和6年にJR巖根駅の一体的なバリアフリー化が図られました。 									

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標④	利用しやすい環境の整備							
事業8	事業者の人材育成							
実施主体	木更津市、交通事業者、その他関係者							
取組内容・スケジュール								
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
ホスピタリティの推進	<div>取組の継続</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
運転士の募集支援	<div>周知PR等の支援の実施(随時)</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
無人自動運転に関する情報収集・検討	<div>調査・検討</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
取組状況								
<p>【ホスピタリティの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者は、運転士の接遇(接客マナー)の向上や、介護を必要とする方への対応などのホスピタリティを推進するため、社内研修を毎年実施しています。 <p>【運転士の募集支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県および木更津市はホームページ等で運転士募集に関する情報掲載を行い、運転士募集に関する情報提供を行いました。 令和6年7月に千葉県が開催した「ちば移住・しごと相談会」に市内事業者が参加しました。 令和6年12月に木更津市とハローワーク木更津が共催で「運転のお仕事説明面接会inイオンモール木更津」を開催しました。 令和7年2月に木更津市が開催した「木更津市合同就職説明会」に市内事業者が参加しました。 令和7年2月、3月に千葉県が開催した「千葉県バス会社合同就職説明会」に市内事業者が参加しました。 <p>【無人自動運転に関する情報収集・検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市は、国土交通省および事業者主催の勉強会への参加や、県内の先進自治体の視察等の情報収集を行いました。 								
目標値に対する実績値の進捗評価								
評価指標 i	交通事業者と連携した運転士募集に関する取組数(件) ※計画期間通算実施回数							策定時(R3) 0件
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	2	8						
目安値	5	10	15	20	25	30	35	40
進捗度	B	B						
達成の見通しと今後の方針								
<ul style="list-style-type: none"> 各交通事業者は継続的な社内研修等の実施により、運転手等の接遇能力の向上を図り、利用者の満足度の目標達成を目指します。 市は、今後も関係機関と連携して合同説明会を開催し、運転手の確保に努め、人材不足を解消を目指します。また、交通事業者においても自動運転技術の活用を検討を進めます。 								
事業評価								
B	概ね目標の達成が見込まれる							
<ul style="list-style-type: none"> 各交通事業者は深刻な運転士不足の解消のため、募集チラシの作成や新聞折り込みによる配付、そして積極的な採用面接会を実施しています。市は引き続き、担い手確保の支援を行います。 								

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標④	利用しやすい環境の整備							
事業9	情報発信							
実施主体	木更津市、交通事業者							
取組内容・スケジュール								
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
ホームページ等を活用した わかりやすい情報の提供	<div>取組の継続(随時更新)</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div>							
取組状況								
<p>【ホームページ等を活用したわかりやすい情報の提供】</p> <p>《市ホームページ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ「高速バス特設ページ」に最新情報を掲載し、市公式LINE等のSNSを通じて公共交通に関する情報発信を行いました。 交通事業者が実施している高齢者への助成制度について、市ホームページ、市広報紙へ掲載しました。 令和6年度「木更津市公共交通に関するホームページ」総アクセス件数：234,912件（+62,410件） <p>《其他媒体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のフリーマガジンに高速バスの路線図・時刻表を掲載。 市の広報紙（11月号）に路線バスの利用を促す記事を掲載。 								
目標値に対する実績値の進捗評価								
評価指標：	木更津市ホームページ閲覧件数のうち、公共交通関連ページの閲覧件数が占める割合（％）							策定時(R3)
								1.6%
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	4.3	3.3						
目安値	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
進捗度	A	B						
達成の見通しと今後の方針								
<p>・今後も市ホームページ等を活用して、公共交通の認知度向上に向けて情報発信を行う必要があります。</p>								
事業評価								
B	概ね目標の達成が見込まれる							

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標④	利用しやすい環境の整備								
事業10	多言語標記								
実施主体	バス事業者、タクシー事業者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
案内看板等の多言語標記化の推進	取組の継続(随時更新)								
	評価・検証 ※毎年実施								
取組状況									
<p>【案内看板等の多言語標記化の推進】</p> <p>(1)バスの行き先表示の多言語標記率 「バス車両の前後や側面に掲げた行き先表示が多言語標記されたバス路線数」の占める割合 ・路線バス・高速バスの路線数：49路線(前年度比▲4) ・うち多言語標記等導入路線数：25路線(前年度比▲2) ・導入率：51.02%</p> <p>(2)タクシーの翻訳機等配備率 翻訳機等が配備されたタクシー車両数の占める割合 ・タクシー台数の合計：226台(前年度比+3) ・うち多言語標記等導入車両数：148台(前年度比+17) ・導入率：65.48%</p> <p>【外国人にとってわかりやすい多言語標記化等の例】</p> <p>≪多言語標記≫ ・行き先表示、車内電光掲示板の多言語化 ・言語切り替え可能のタブレット端末の搭載</p> <p>≪音声案内≫ ・運転手の翻訳アプリ携行 ・多言語による車内アナウンス</p> <p>≪パンフレット≫ ・車内シートベルト着用のお願いや緊急時の対応方法等の記載</p>									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標 i	バスの行き先表示の多言語標記率 (%)								策定時(R3)
									50.9%
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値(R12)
実績値	50.9	51							
目安値	61.9	67.4	72.9	78.4	83.9	89.4	94.9	100	100%
進捗度	B	B							
評価指標 ii	タクシーの翻訳機等配備率 (%)								策定時(R3)
									57.5%
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値(R12)
実績値	58.7	65.5							
目安値	62.5	65	67.5	70	72.5	75	77.5	79.9	79.9%
進捗度	B	A							
達成の見通しと今後の方針									
・各交通事業者は、今後も外国人居住者や外国人観光客に対しても、わかりやすく使いやすい公共交通機関となるよう多言語標記化やピクトグラム標記表示の対応を行う必要があります。									
事業評価									
B	概ね目標の達成が見込まれる								

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標④	利用しやすい環境の整備								
事業Ⅱ	新たなモビリティサービスの活用								
実施主体	木更津市、交通事業者、その他関係者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
新たなモビリティサービスの活用	調査・研究、調整・協議								
	実施できる取組を順次展開								
	評価・検証 ※毎年実施								
取組状況									
<p>【新たなモビリティサービスの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIオンデマンド交通等の新たなモビリティサービスについて、木更津市と交通事業者で情報交換を令和6年度は4回行いました。 ・グリーンスローモビリティ車両の活用事例について、木更津市と木更津市社会福祉協議会で情報交換を行いました。 ・自動運転技術に関する先進自治体の現地視察を行い、自動運転バスの実施方法や課題点等について説明を受け、さらに意見交換を行いました。 ・自動運転バスの導入に関する他地域の事例について、事業者から情報提供を受けました。 <p>≪参考：横芝光町 自動運転モビリティ事業≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存交通網と連携した新たな交通網の形成のため、将来的な自動運転レベル4の実現を目指し、現在は一部手動運転介入のレベル2運行の実証走行を実施している。 <p>(1)実施主体：横芝光町 (2)期間：令和6年2月から通年で実証走行中 (3)運行方法：定時定路線 1日10便程度 (4)運行経路：横芝駅～商業施設～町立病院(約5.5km) (5)車両：自動運転レベル4対応のEV車両(実証運行は最大16名乗)</p>									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標：	検討のための協議回数（回） ※計画期間通算実施回数								策定時(R3)
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値(R12)
実績値	4	8							
目安値	4	8	12	16	20	24	28	32	32
進捗度	A	A							
達成の見通しと今後の方針									
<ul style="list-style-type: none"> ・「2024年問題」に起因する運転士不足の解消のため、交通事業者と共にAIオンデマンド交通等の新たな交通モビリティサービスの活用について検討し、公共交通の維持・確保を目指します。 ・市および交通事業者は引き続き、自動運転技術等の新たなモビリティサービスに関する情報収集を行います。 									
事業評価									
A	目標を達成している								
<ul style="list-style-type: none"> ・市および交通事業者は公共交通の担い手の確保や、交通空白地の解消に向けて関係者と共に情報収集および検討を進める必要があります。 									

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標⑤	公共交通の維持に向けた利用促進							
事業12	事業者間連携によるインセンティブ付与							
実施主体	バス事業者、その他関係者（施設関係者）							
取組内容・スケジュール								
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
運賃割引券等の導入	<div> <div>取組の継続（取組改善や新規取組を随時検討・実施）</div> <div>評価・検証 ※毎年実施</div> </div>							
取組状況								
<p>【運賃割引券等の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール木更津で1,000円以上の買い物をした者を対象に、イオンモール木更津発のバスの100円割引券を発行しています。 ・「木更津－鴨川線」では、イオンモール木更津～鴨川間の往復割引乗車券を販売し、両社が広報活動において連携・協力しています。 <p>（参考：往復料金） イオンモール木更津～鴨川間：通常3,160円 ⇒ 2,200円 ※3日間有効</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速バス（新宿線・東京線）の乗車券と三井アウトレットパーク木更津の買い物券のセット販売を行っています。 								
目標値に対する実績値の進捗評価								
評価指標：	事業者間連携による取組数（件）							策定時(R3)
								4件
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	3	3						
目安値	4	5	5	6	6	7	7	8
進捗度	B	B						
達成の見通しと今後の方針								
・バス事業者は市内の大型商業施設と連携し、一定額の買い物をした場合に運賃割引を行う割引制度の導入を検討するなど、更なる公共交通利用者獲得に向けたインセンティブの付与を促します。								
事業評価								
B	概ね目標の達成が見込まれる							

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

計画目標⑤	公共交通の維持に向けた利用促進							
事業13	モビリティ・マネジメント							
実施主体	木更津市、市民、バス事業者、その他関係者							
取組内容・スケジュール								
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
公共交通の乗り方教室などの実施	本格運行（導入済みの地区）							
	導入検討		新規取組の実施					
	評価・検証 ※毎年実施							
エコ通勤の推進	市職員のエコ通勤を促す		市全域を対象としたエコ通勤の展開					
	評価・検証 ※毎年実施							
取組状況								
<p>【公共交通の乗り方教室などの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木更津市主催イベント（防災フェスティバル）で、日東交通による「路線バス乗り方教室」を実施しました。 ・久留里線活性化協議会による「久留里線乗り方教室」を実施しました。 <p>【エコ通勤の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員を対象に公共交通や自転車・徒歩による通勤を促す「エコ通勤チャレンジ」を令和6年度は3回実施しました。 ・時期：①令和6年5月20日～5月31日 ②令和6年12月2日～12月27日 ③令和7年2月3日～7年2月28日 ・結果：エコ通勤に取り組んだ(既に取組んでいる)人数/アンケート回答者数 ①259人/831人 ②304人/823人 ③138人/350人 								
目標値に対する実績値の進捗評価								
評価指標：	公共交通に関するイベントや説明会等の実施回数（回） ※計画期間通算実施回数							策定時(R3) 3回 (3か年通算)
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実績値	2	4						
目安値	2	4	6	8	10	12	14	16
進捗度	A	A						
達成の見通しと今後の方針								
<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの乗り方教室は、対象者の拡大、実施方法の工夫などを行い、継続的に実施する必要があります。 ・市は木更津市職員に対して、公共交通の維持、地球環境の保全、健康増進の観点からエコ通勤への協力を求め、市全域を対象としたエコ通勤の展開について検討する必要があります。 								
事業評価								
A	目標を達成している							

木更津市地域公共交通計画 事業評価シート (令和 6 年度実施分)

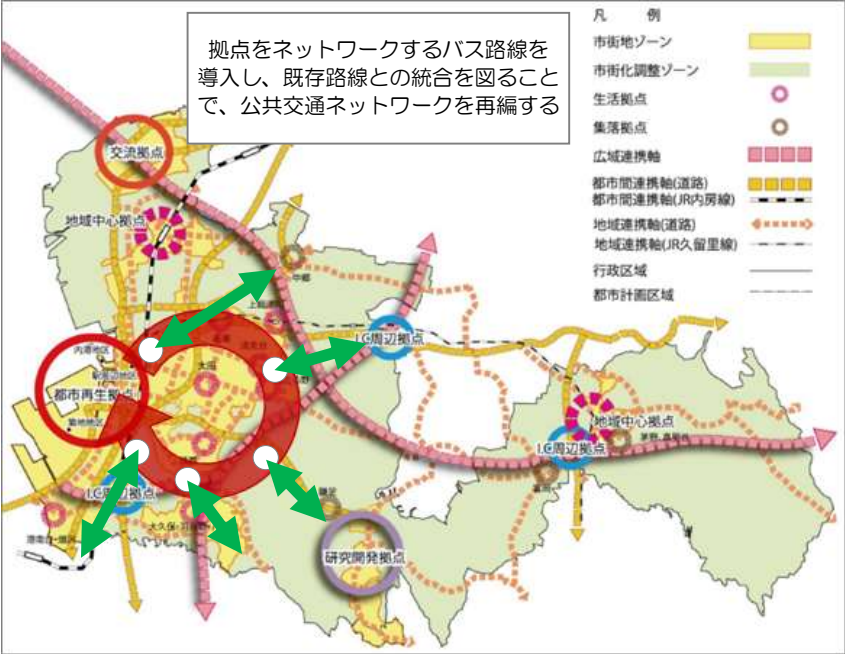
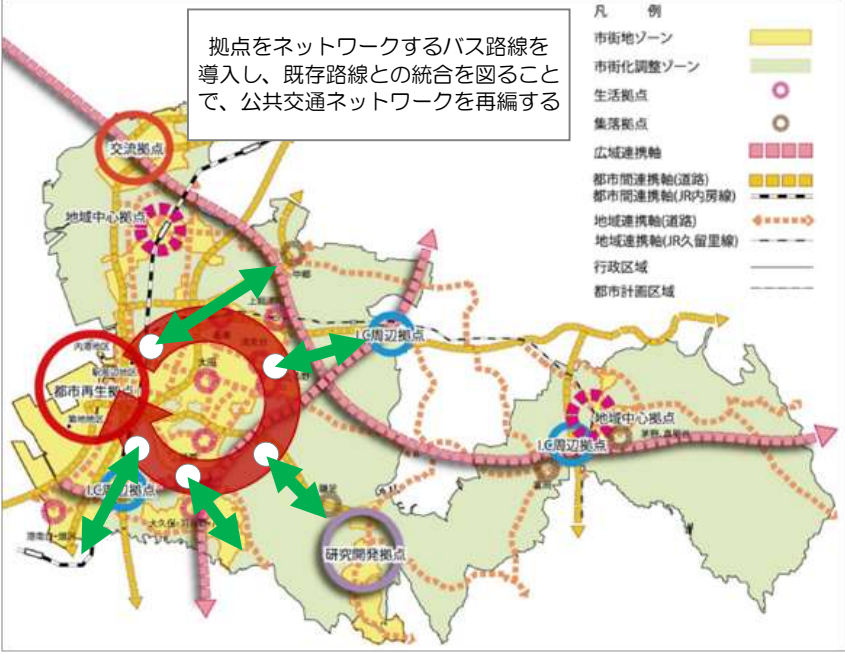
計画目標⑤	公共交通の維持に向けた利用促進								
事業14	久留里線の利用促進								
実施主体	木更津市、鉄道事業者、その他関係者								
取組内容・スケジュール									
取組内容	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
J R 久留里線活性化協議会 による事業の実施	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">J R 久留里線活性化協議会等による利用促進事業の実施</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">評価・検証 ※毎年実施</div>								
取組状況									
<p>【J R 久留里線活性化協議会による事業の実施】</p> <p>(1)久留里線乗り方教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線地域在住の小学生及び保護者を対象に、J R 久留里線に実際に乗車する乗り方教室を実施 実施日：令和6年12月15日（日） 参加者 計13組（26名） <p>(2)久留里線活性化協議会Xプレゼントキャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間：令和6年6月12日（水）～7月8日（月） 協議会のX公式アカウントをフォローし、投稿キャンペーンポストをリポストした方から抽選で15名に、久留里沿線3市の「イチオシ特産品」を贈呈。 キャンペーン参加者：74名 <p>(3)久留里線×沿線イベント等とのコラボレーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 久留里ナイト酒ミュージアムええもん夜いちにおいて当日の久留里線利用者に対し、特典を付与し、久留里線の利用促進を図った。 （特典内容：久留里線の乗車証明書を持参し、酒ミュージアムで「地酒3種試飲」を購入した方に、おちょこ1杯の大吟醸をプレゼント） 特典利用件数：164件 実施日：令和6年9月14日（土） <p>≪参考：久留里線活性化協議会と地域イベント・各種団体等との連携・コラボレーション≫</p> <ul style="list-style-type: none"> 久留里線沿線地域への来訪促進のため、久留里線沿線で開催されるイベント等（地域行事）への協力・共催や観光施設等と連携した取組を実施します。 連携する団体・取組例：久留里ええもん市、久留里酒ミュージアム 									
目標値に対する実績値の進捗評価									
評価指標 i	馬来田駅における運行本数（本）							策定時(R3) 上り17本, 下り17本	
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
実績値	上り	17	17						目標値(R12)
	下り	17	17						現状維持
達成の見通しと今後の方針									
<p>・引き続き、JR久留里活性化協議会の活動を通じて久留里線の利用促進に向けた事業に取り組みます。</p>									
事業評価									
B	概ね目標の達成が見込まれる								

【議題(3)】木更津市地域公共交通計画の変更について

市街地循環バスの本格運行の導入に代わり、既存路線の太田循環線の一部を延伸することとなったため、路線バスの再編に関する取組内容の変更を行おうとするものです。

※下線の箇所は変更部分

木更津市地域公共交通計画 新旧対照表

変更後	変更前
4. 2地域特性に応じた地域公共交通ネットワークの構築	4. 2地域特性に応じた地域公共交通ネットワークの構築
<div>計画目標② 路線バスの再編等</div> <div>事業3 バス路線等の再編</div> <div>実施主体 木更津市、バス事業者、その他関係者</div> <div>【今後の取組内容】</div> <div><取組の背景・方向性></div> <div>・令和4年度（令和4年11月1日～令和5年1月31日）に「市街地循環バス」の実証運行を行っています。</div> <div>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等もあり、路線バスの利用者が減少しています。一方で、新たなまちづくりが進むなど、まちの変化が見られます。こうした需要の変化に対応した路線バスの再編を行うことで、持続可能な路線バスのネットワークを構築することが必要となっています。</div> <div><取組内容></div> <div>【拠点ネットワーク型の集約型都市構造の形成を目指したバス路線等の再編】</div> <div>・市街地循環バスの実証運行結果を踏まえ、<u>太田循環線の日中時間帯の運行ルートを変更し、その他の路線についても、経路上の商業施設などの拠点で路線を乗継ぐことを検討し、バス路線網の再構築を目指します。</u></div> <div></div> <div>地域公共交通ネットワークの再編イメージ</div>	<div>計画目標② 路線バスの再編等</div> <div>事業3 バス路線等の再編</div> <div>実施主体 木更津市、バス事業者、その他関係者</div> <div>【今後の取組内容】</div> <div><取組の背景・方向性></div> <div>・令和4年度（令和4年11月1日～令和5年1月31日）に「市街地循環バス」の実証運行を行っています。</div> <div>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等もあり、路線バスの利用者が減少しています。一方で、新たなまちづくりが進むなど、まちの変化が見られます。こうした需要の変化に対応した路線バスの再編を行うことで、持続可能な路線バスのネットワークを構築することが必要となっています。</div> <div><取組内容></div> <div>【拠点ネットワーク型の集約型都市構造の形成を目指したバス路線等の再編】</div> <div>・市街地循環バスの実証運行を踏まえ、本格運行を検討するとともに、市街地循環バスの内側においては重複する既存路線との統合を検討し、市街地循環バスの内側と外側を結ぶ路線については、市街地循環バスの経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐことを検討し、バス路線網の再構築を目指します。</div> <div></div> <div>地域公共交通ネットワークの再編イメージ</div>

【まちづくりの進展や需要の変化を踏まえたバス路線等の見直し】

- ・路線バス全体について、まちの変化への対応、日常生活における人の流れと路線バス網のマッチングを図り、最適なバス路線の再編検討を行います。
- ・路線バスについては、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統およびフィーダー系統）を活用しながら、今後も運行を維持していきます。
- ・令和10年度末までに吾妻公園文化芸術施設を整備することから、現在、イオンタウン株式会社が運行している巡回バスのルートを吾妻公園まで延伸することによる利便性の確保について検討します。

-68-

【まちづくりの進展や需要の変化を踏まえたバス路線等の見直し】

- ・路線バス全体について、まちの変化への対応、日常生活における人の流れと路線バス網のマッチングを図り、最適なバス路線の再編検討を行います。
- ・路線バスについては、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）を活用しながら、今後も運行を維持していきます。
- ・令和9年度末までに吾妻公園に文化芸術施設や図書館等を整備することから、現在、イオンタウン株式会社が運行している巡回バスのルートを吾妻公園まで延伸することによる利便性の確保について検討します。

-68-

変更後







【取組スケジュール】									
取組内容	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
拠点ネットワーク型の 集約型都市構造の形成 を目指したバス路線等 の再編	検討	できるところから再編実施（随時）							
	評価・検証 ※毎年実施								
まちづくりの進展や需 要の変化を踏まえたバ ス路線等の見直し	バス路線の見直し（随時見直し）								
	評価・検証 ※毎年実施								

-69-

変更前

【取組スケジュール】								
取組内容	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
拠点ネットワーク型の 集約型都市構造の形成 を目指したバス路線等 の再編	検討	できるところから再編実施（随時）						
	評価・検証 ※毎年実施							
まちづくりの進展や需 要の変化を踏まえたバ ス路線等の見直し	バス路線の見直し（随時見直し）							
	評価・検証 ※毎年実施							

-69-

変更後	変更前												
<div><div>計画目標② 路線バスの再編等</div><div><div>事業4 拠点における円滑な接続</div><table><tr><td>実施主体</td><td>実施主体</td></tr><tr><td colspan="2">【今後の取組内容】</td></tr><tr><td colspan="2"><p>＜取組の背景・方向性＞</p><ul style="list-style-type: none">・主要拠点には、鉄道や路線バスなどの多くの公共交通が接続し、鉄道と路線バスや路線バス同士の乗継が発生します。公共交通の再編を行うだけでなく、こうした円滑な乗継に向けた環境整備を行うことで、利用しやすい環境を整えて、公共交通の利便性向上につなげていくことが必要となっています。<p>＜取組内容＞</p><p>【乗り換え及び乗継ぎに配慮したダイヤ編成】</p><ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示します。<p>【乗継割引の導入】</p><ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、<u>商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、利用者の運賃負担が増えないよう、乗継割引制度の導入を検討し実施します。</u><p>【ICカードの乗継割引】</p><p>（福島交通株式会社）</p><p>【待合環境の向上】</p><ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、<u>商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、その拠点に立地する施設内でバスを待つことができるよう、待合スペースの確保について施設管理者と協議します。</u><div></div><p>【商業施設と連携した待合スペース】 （神奈川県横浜市）</p></td></tr></table></div></div>	実施主体	実施主体	【今後の取組内容】		<p>＜取組の背景・方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none">・主要拠点には、鉄道や路線バスなどの多くの公共交通が接続し、鉄道と路線バスや路線バス同士の乗継が発生します。公共交通の再編を行うだけでなく、こうした円滑な乗継に向けた環境整備を行うことで、利用しやすい環境を整えて、公共交通の利便性向上につなげていくことが必要となっています。 <p>＜取組内容＞</p> <p>【乗り換え及び乗継ぎに配慮したダイヤ編成】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示します。 <p>【乗継割引の導入】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、<u>商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、利用者の運賃負担が増えないよう、乗継割引制度の導入を検討し実施します。</u> <p>【ICカードの乗継割引】</p> <p>（福島交通株式会社）</p> <p>【待合環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、<u>商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、その拠点に立地する施設内でバスを待つことができるよう、待合スペースの確保について施設管理者と協議します。</u> <div></div> <p>【商業施設と連携した待合スペース】 （神奈川県横浜市）</p>		<div><div>計画目標② 路線バスの再編等</div><div><div>事業4 拠点における円滑な接続</div><table><tr><td>実施主体</td><td>実施主体</td></tr><tr><td colspan="2">【今後の取組内容】</td></tr><tr><td colspan="2"><p>＜取組の背景・方向性＞</p><ul style="list-style-type: none">・主要拠点には、鉄道や路線バスなどの多くの公共交通が接続し、鉄道と路線バスや路線バス同士の乗継が発生します。公共交通の再編を行うだけでなく、こうした円滑な乗継に向けた環境整備を行うことで、利用しやすい環境を整えて、公共交通の利便性向上につなげていくことが必要となっています。<p>＜取組内容＞</p><p>【乗り換え及び乗継ぎに配慮したダイヤ編成】</p><ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示します。<p>【乗継割引の導入】</p><ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、市街地循環バスの本格運行に伴い、<u>市街地循環バスの経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、利用者の運賃負担が増えないよう、乗継割引制度の導入を検討し実施します。</u><p>【ICカードの乗継割引】</p><p>（福島交通株式会社）</p><p>【待合環境の向上】</p><ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、市街地循環バスの本格運行に伴い、<u>市街地循環バスの経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、その拠点に立地する施設内でバスを待つことができるよう、待合スペースの確保について施設管理者と協議します。</u><div></div><p>【商業施設と連携した待合スペース】 （神奈川県横浜市）</p></td></tr></table></div></div>	実施主体	実施主体	【今後の取組内容】		<p>＜取組の背景・方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none">・主要拠点には、鉄道や路線バスなどの多くの公共交通が接続し、鉄道と路線バスや路線バス同士の乗継が発生します。公共交通の再編を行うだけでなく、こうした円滑な乗継に向けた環境整備を行うことで、利用しやすい環境を整えて、公共交通の利便性向上につなげていくことが必要となっています。 <p>＜取組内容＞</p> <p>【乗り換え及び乗継ぎに配慮したダイヤ編成】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示します。 <p>【乗継割引の導入】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、市街地循環バスの本格運行に伴い、<u>市街地循環バスの経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、利用者の運賃負担が増えないよう、乗継割引制度の導入を検討し実施します。</u> <p>【ICカードの乗継割引】</p> <p>（福島交通株式会社）</p> <p>【待合環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、市街地循環バスの本格運行に伴い、<u>市街地循環バスの経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、その拠点に立地する施設内でバスを待つことができるよう、待合スペースの確保について施設管理者と協議します。</u> <div></div> <p>【商業施設と連携した待合スペース】 （神奈川県横浜市）</p>	
実施主体	実施主体												
【今後の取組内容】													
<p>＜取組の背景・方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none">・主要拠点には、鉄道や路線バスなどの多くの公共交通が接続し、鉄道と路線バスや路線バス同士の乗継が発生します。公共交通の再編を行うだけでなく、こうした円滑な乗継に向けた環境整備を行うことで、利用しやすい環境を整えて、公共交通の利便性向上につなげていくことが必要となっています。 <p>＜取組内容＞</p> <p>【乗り換え及び乗継ぎに配慮したダイヤ編成】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示します。 <p>【乗継割引の導入】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、<u>商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、利用者の運賃負担が増えないよう、乗継割引制度の導入を検討し実施します。</u> <p>【ICカードの乗継割引】</p> <p>（福島交通株式会社）</p> <p>【待合環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、<u>商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、その拠点に立地する施設内でバスを待つことができるよう、待合スペースの確保について施設管理者と協議します。</u> <div></div> <p>【商業施設と連携した待合スペース】 （神奈川県横浜市）</p>													
実施主体	実施主体												
【今後の取組内容】													
<p>＜取組の背景・方向性＞</p> <ul style="list-style-type: none">・主要拠点には、鉄道や路線バスなどの多くの公共交通が接続し、鉄道と路線バスや路線バス同士の乗継が発生します。公共交通の再編を行うだけでなく、こうした円滑な乗継に向けた環境整備を行うことで、利用しやすい環境を整えて、公共交通の利便性向上につなげていくことが必要となっています。 <p>＜取組内容＞</p> <p>【乗り換え及び乗継ぎに配慮したダイヤ編成】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示します。 <p>【乗継割引の導入】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、市街地循環バスの本格運行に伴い、<u>市街地循環バスの経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、利用者の運賃負担が増えないよう、乗継割引制度の導入を検討し実施します。</u> <p>【ICカードの乗継割引】</p> <p>（福島交通株式会社）</p> <p>【待合環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス事業者は、市街地循環バスの本格運行に伴い、<u>市街地循環バスの経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐよう見直す場合等においては、その拠点に立地する施設内でバスを待つことができるよう、待合スペースの確保について施設管理者と協議します。</u> <div></div> <p>【商業施設と連携した待合スペース】 （神奈川県横浜市）</p>													

変更後										変更前									
【取組スケジュール】										【取組スケジュール】									
取組内容		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	取組内容		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
乗り換え及び乗り継ぎに配慮したダイヤ編成	ダイヤ改正の都度、ダイヤを見直す									乗り換え及び乗り継ぎに配慮したダイヤ編成	ダイヤ改正の都度、ダイヤを見直す								
	評価・検証 ※毎年実施										評価・検証 ※毎年実施								
乗継割引の導入	検討									乗継割引の導入	検討								
	実施（必要に応じて見直し）										実施（必要に応じて見直し）								
待合環境の向上	評価・検証 ※毎年実施									待合環境の向上	評価・検証 ※毎年実施								
	実施（必要に応じて見直し）										実施（必要に応じて見直し）								
-71-										-71-									

変更後

計画目標② 路線バスの再編等

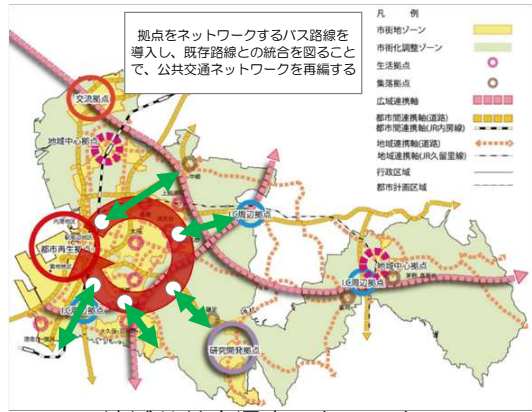
事業3 バス路線等の再編

＜実施主体＞ 木更津市、バス事業者、その他関係者
【拠点ネットワーク型の集約型都市構造の形成を目指したバス路線等の再編】

- 市街地循環バスの実証運行結果を踏まえ、太田循環線の日中時間帯運行のルートを変更し、その他の路線についても、経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐことを検討し、バス路線網の再構築を目指す。

【まちづくりの進展や需要の変化を踏まえたバス路線等の見直し】

- 路線バス全体について、まちの変化への対応、日常生活における人の流れと路線バス



▲地域公共交通ネットワークの再編イメージ

事業4 拠点における円滑な接続

＜実施主体＞ バス事業者、その他関係者
【乗り換え及び乗り継ぎに配慮したダイヤ編成】

- 乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示する。

【乗継割引の導入】

- 乗継割引制度の導入を検討し実施する。

【待合環境の向上】

- 待合スペース確保について施設管理者と協議する。

計画目標③ 新たな交通システムの導入

事業5 新たな交通システムの導入

＜実施主体＞

木更津市、市民、

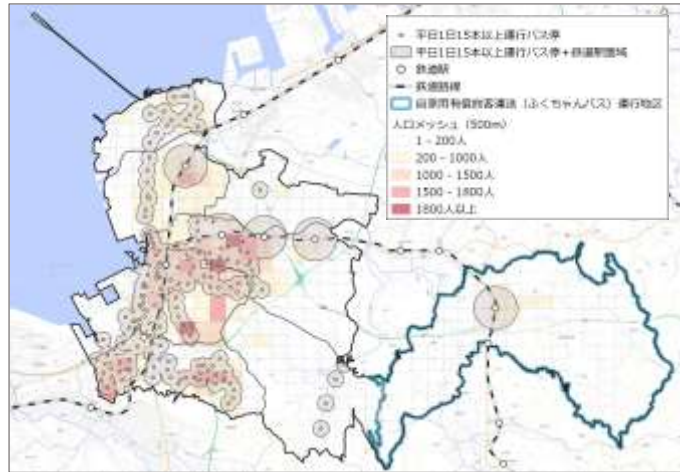
タクシー事業者、バス事業者、

その他関係者

【交通不便地域における新たな交通システムの導入】

- 交通不便地域においては、地域主体による新たな交通システムの導入を促進し、市は支援を行う。市民・交通事業者・関係事業者・行政が連携しながら、導入にあたる。

新たな交通システムは「交通不便地域」における移動手段を確保していく役割を担います。本計画において、「交通不便地域」とは、運行本数が1日15本以上の鉄道駅から800m以遠、高速バスや路線バスのバス停から300m以遠の地域を指し、鉄道駅やバス停が、ある程度便利に利用できる範囲内にない地域のことをいいます。
1日15本以上の運行本数は、概ね1時間に1本程度のサービス水準となり、必要最低限の運行本数となることから、交通不便地域は運行本数が1日15本未満のエリアとしました。



変更前

計画目標② 路線バスの再編等

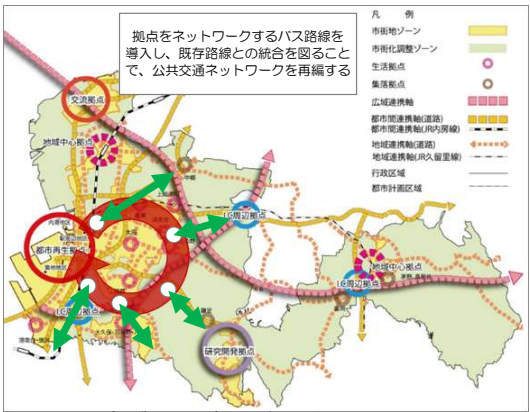
事業3 バス路線等の再編

＜実施主体＞ 木更津市、バス事業者、その他関係者
【拠点ネットワーク型の集約型都市構造の形成を目指したバス路線等の再編】

- 市街地循環バスの本格運行を検討し、市街地循環バスの内側においては重複する既存路線との統合を検討、市街地循環バスの内側と外側を結ぶ路線については、経路上にある商業施設などの拠点で路線を乗継ぐことを検討し、バス路線網の再構築を目指す。

【まちづくりの進展や需要の変化を踏まえたバス路線等の見直し】

- 路線バス全体について、まちの変化への対応、日常生活における人の流れと路線バス網のマッチングを図り、最適なバス路線の再編検討を行います。



▲地域公共交通ネットワークの再編イメージ

事業4 拠点における円滑な接続

＜実施主体＞ バス事業者、その他関係者
【乗り換え及び乗り継ぎに配慮したダイヤ編成】

- 乗継しやすいダイヤ設定を検討し、情報を表示する。

【乗継割引の導入】

- 市街地循環バスの本格運行に伴い、乗継割引制度の導入を検討し実施する。

【待合環境の向上】

- 市街地循環バスの本格運行に伴い、待合スペース確保について施設管理者と協議する。

計画目標③ 新たな交通システムの導入

事業5 新たな交通システムの導入

＜実施主体＞

木更津市、市民、

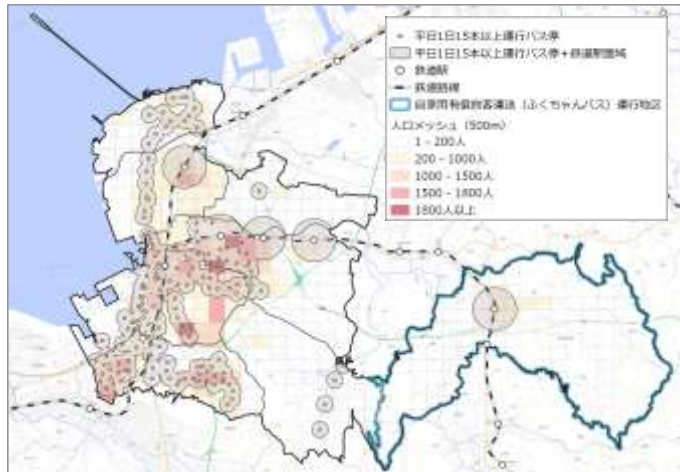
タクシー事業者、バス事業者、

その他関係者

【交通不便地域における新たな交通システムの導入】

- 交通不便地域においては、地域主体による新たな交通システムの導入を促進し、市は支援を行う。市民・交通事業者・関係事業者・行政が連携しながら、導入にあたる。

新たな交通システムは「交通不便地域」における移動手段を確保していく役割を担います。本計画において、「交通不便地域」とは、運行本数が1日15本以上の鉄道駅から800m以遠、高速バスや路線バスのバス停から300m以遠の地域を指し、鉄道駅やバス停が、ある程度便利に利用できる範囲内にない地域のことをいいます。
1日15本以上の運行本数は、概ね1時間に1本程度のサービス水準となり、必要最低限の運行本数となることから、交通不便地域は運行本数が1日15本未満のエリアとしました。



令和 7 年 7 月 1 日

木更津市地域公共交通活性化協議会

会長 轟 朝 幸 様

富来田地区まちづくり協議会

会長 鵜 田 宏

富来田地区自家用有償旅客運送の運行内容の変更について（目的地の追加）

当協議会における自家用有償旅客運送については令和 3 年 7 月 1 日から本格運行を実施しておりますが、これまでの運行の実績や住民のニーズを踏まえて運行目的地の変更の可否について木更津市地域公共交通活性化協議会でご審議頂きますようお願いいたします。

記

1 運行可能な目的地の変更について

- ・東邦病院および市役所朝日庁舎を新たな目的地とすること。

	新				旧			
目的地	富来田 地区内	・尾張屋 ・おどや	・ほたる 野眼科	・はぎわら 病院 ・市役所 朝日庁舎 ・東邦病院	富来田 地区内	・尾張屋 ・おどや	・ほたる 野眼科	・はぎわら 病院
運賃 (片道)	500 円		750 円	1,000 円	500 円		750 円	1,000 円

2 添付資料

- ・変更後運行概要および運送区域図

3 変更日

- ・令和 7 年 10 月 1 日（水）から

<問い合わせ先>

担 当 富来田地区まちづくり協議会

会長 鵜 田 宏

住 所 〒292-0201

千葉県木更津市真里谷 1 1 0

電 話 0438-53-2027

1 運行概要

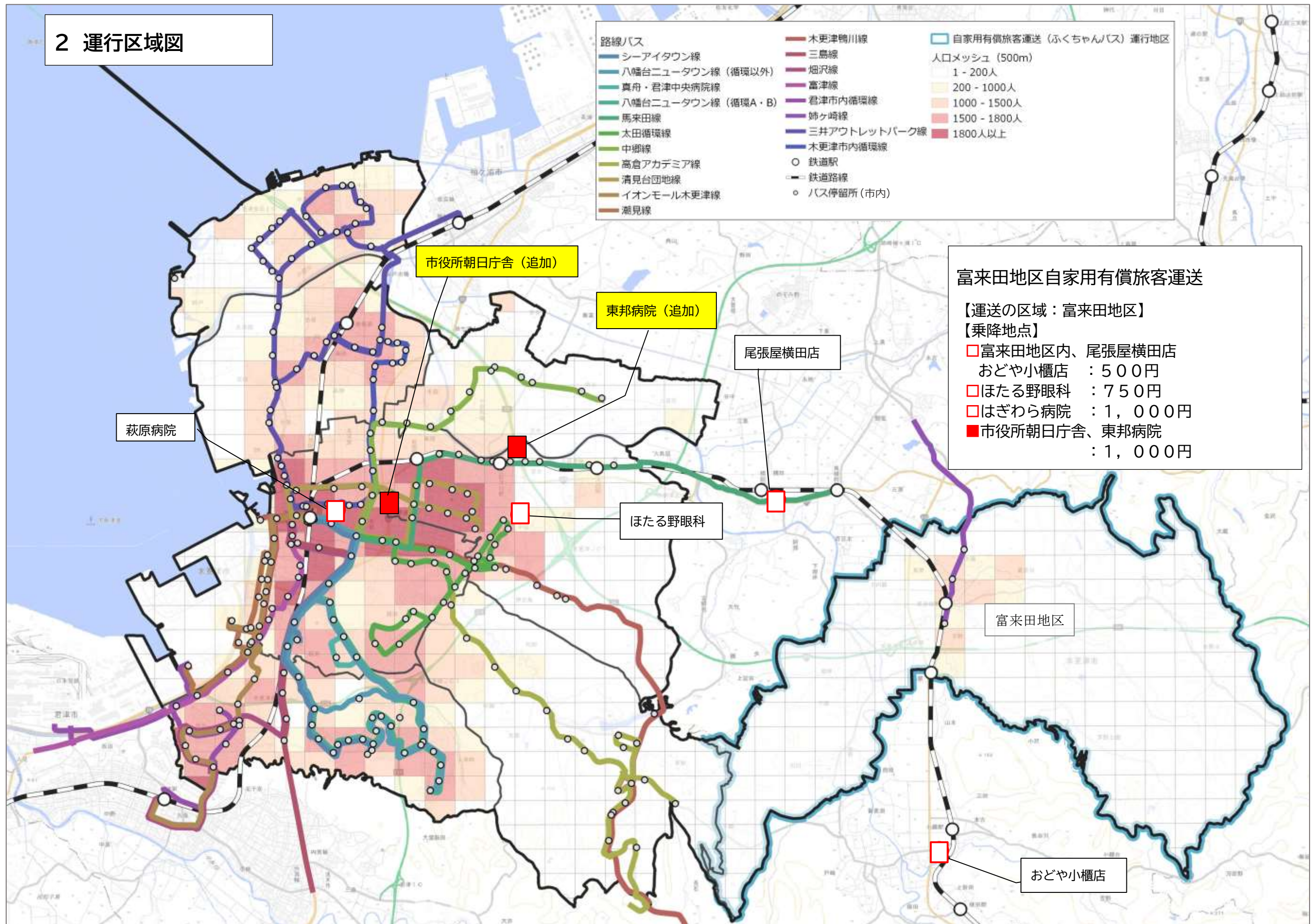
自家用有償旅客運送(ふくちゃんバス)

交通不便地域とされる富来田地区において、地域が運行主体となって地域住民の生活の足の確保を目的とした「自家用有償旅客運送(公共交通空白地有償運送)」(愛称:ふくちゃんバス)を運行しています。

木更津市地域公共交通活性化協議会の合意を受け、令和2年7月1日から1年間の実証運行を行い、令和3年7月1日から一部運行内容を見直して、本格運行に移行しました。

1.利用対象者		富来田地区在住者で事前登録をした方 登録料 1,000 円
2.運行サービス		
	(1)運行エリア	富来田地区および地区外商業施設等(尾張屋横田店、おどや小櫃店、ほたる野眼科、はぎわら病院、市役所朝日庁舎、東邦病院)
	(2)予約日	利用週の月曜日 受付に電話にて予約
	(3)運行日	水曜日、金曜日
	(4)運行形態等	
	①運行形態	予約(デマンド)による区域運行型輸送サービス
	②運行時間帯	概ね午前9時から午後 4 時で設定 ※ただし、通院の時間帯によっては可能な範囲で早朝便を運行。
3.乗降方式		自宅から目的地へのドア・トゥ・ドア
4.運賃		運賃徴収(事前にチケットを購入) 1回の乗車毎に 片道 500 円(富来田地区内、尾張屋、おどや)、 750 円(ほたる野眼科)、 1,000 円(はぎわら病院、市役所朝日庁舎、東邦病院)

2 運行区域図



富来田地区まちづくり協議会
会 長 鵜 田 宏 様

木更津市地域公共交通活性化協議会において協議が調ったことを証する書類

令和 7 年 7 月 1 日付けで提出のあった自家用有償旅客運送の運行内容の変更については、下記のとおり木更津市地域公共交通活性化協議会を開催し、条件付きで合意に至ったため、その旨証明します。

記

1. 木更津市地域公共交通活性化協議会にて合意に至った年月日

令和 7 年 8 月 日

2. 合意の内容

(1) 令和 3 年 5 月 1 4 日付け「木更津市地域公共交通活性化協議会において協議が調ったことを証する書類」における「合意の条件」の変更

合意の条件を、

- ・自家用有償旅客運送は運行に当たっては鉄道や路線バス、タクシーなど他の公共交通と連携し、地域公共交通の最適化を意識すること。
- ・萩原病院への利用状況をモニタリングし、利用者数が少なくなった場合は乗降場所から削除すること。
- ・木更津市地域公共交通活性化協議会に運行実績に関する報告を毎年行うこと。

とする。

(2)乗降場所の追加

①東邦病院（木更津市菅生 7 2 5 - 1）※運賃（片道）1,000 円

※地域住民の需要が多く既存特例目的地で対応できないという理由から更なる特例として認める。

②市役所朝日庁舎（木更津市朝日 3 - 1 0 - 1 9）※運賃（片道）1,000 円

3. 変更日

令和 7 年 1 0 月 1 日

4. 合意の条件

- ・自家用有償旅客運送は運行に当たっては鉄道や路線バス、タクシーなど他の公共交通と連携し、地域公共交通の最適化を意識すること。
- ・富来田地区外の目的地は、2. (2)を含む 6 カ所とし、さらなる追加は認めない。
- ・富来田地区外の目的地の利用状況をモニタリングし、利用者数が少なくなった場合は乗降場所から削除すること。
- ・木更津市地域公共交通活性化協議会に運行実績に関する報告を毎年行うこと。

令和 7 年 8 月 日

木更津市地域公共交通活性化協議会

会 長 轟 朝 幸 印